

事業区分	文化芸術事業			鑑賞事業			
事業名	仲道郁代 ショパン鍵盤のミステリー			助成:(財)ごうぎん鳥取文化振興財団			
目的・内容	国内の質の高い舞台公演の鑑賞機会の提供を目的に実施。ショパン生誕200年にあたる2010年に、記念のコンサートを行うことで、愛好者はもとよりクラシックに造詣が深くない層も取り込み、新たな鑑賞者の拡大を図る。						
開催日時	平成22年10月8日(金) 開演18:30						
会場	倉吉未来中心 大ホール						
入場料 (友の会・団体)	S席 4,000円 (3,500円)	A席 3,000円 (2,500円)	スイートペア・チケット 5,000円	大学生以下 1,500円			
集客状況	入場者数	683名	設定席数	1,219席	集客率	56%	
事業費状況	予算額	収入	3,110,000円	支出	3,076,000円	収支比率	101%
	決算額	収入	2,107,500円	支出	2,473,021円	収支比率	85%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 209名	<ul style="list-style-type: none"> 初めてのピアノコンサートでしたが、解説・スライド付きで非常にわかりやすく、ピアノとショパンを楽しめました。 心洗われるコンサートで大変満足しました。 今までに経験のないスタイルのコンサートで楽しかったです。 演奏だけで良かったです。説明は不要。 マナーを守ってほしい。 駐車場の誘導がきちんとされていなかった。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 助成を受けた財団法人を設立した銀行の中部地区の支店に広報依頼、販売促進を行い、新たな販路の拡大に繋げることができた。 「A席限定 スイートペア・チケット」の設定や、「親子のためのクラシックコンサート」と共通のチラシを作製して相互のPRを図るなど、顧客を獲得するための新しい取り組みを行った。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団事業において、入場者の少ない20代の集客が課題である。 鑑賞マナーの悪さを指摘する声があった。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 集客活動にマスコミの利用や、ピアノ教室回りを行うなど、積極的な取り組みは評価できる。 アンケート回収率も大変良く、顧客満足度も高い評価を得ている。 企業をスポンサーに取り入れることで新たな人脈や流れができるとともに、企業にとってもイメージアップに繋がる要素もあり、良い取り組みだった。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生席の設置は良いが、実績が認められなかったのは今後の課題である。 ターゲットにしたところに思うような効果がなかったところは検証する必要がある。 						
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 今回新たに繋がりができた企業との継続的な関係構築を図るとともに、今後も公演に何らかで関連していると思われる企業には、積極的に広報・販売促進を行うようにする。→実施中 ターゲットや20代の集客については、大学などへの聞き取り、アンケートの分析などを行い、アプローチの仕方等を改めて検討していく。→一部実施中 公演パンフレットにマナーガイドを添える、係員の声掛け、場内アナウンス等を引き続き行う。→継続実施中 						